

# わたしたちにもできる防災ってなあに！

## 自分の命は自分で守ろう



行徳っ子守り隊のみ  
なさんとの学区調査

防災マップが  
完成



千葉県市川市立行徳小学校 鬼原寿美子

# わたしたちにもできる防災ってなあに！

## 1. はじめに

本校の6年生135名を中心として、平成17年4月より防災教育に力を注ぐようになった。初年度である17年度は子ども達に、災害や防災に対し興味や関心を持たせることが大切だと考えた。まずは、「できることからやろう」を合い言葉に

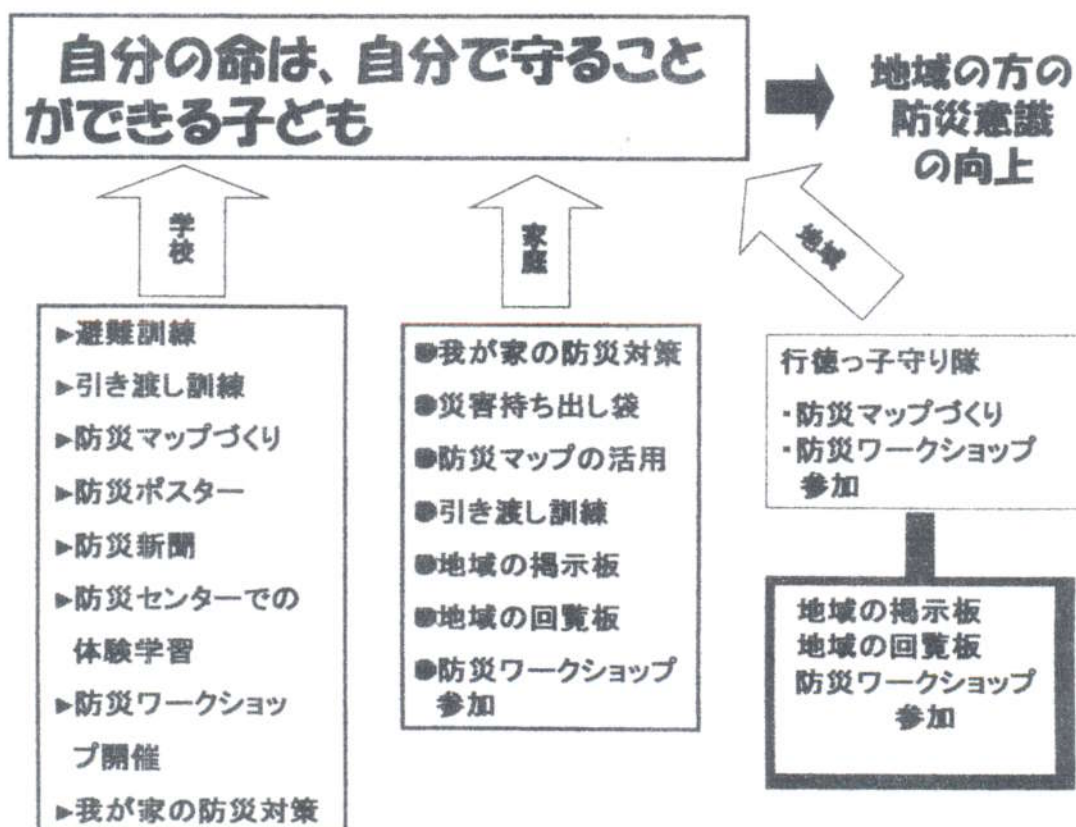
この一年間取り組んできた。まだまだ蓄積という点では不十分であるが、当初と比較すると、子ども達や保護者の意識は向上してきたと言える。

この頃では、頻繁に震度3以上を記録する地震が発生することが多い、また、近い将来、関東・東海を震源地とした大地震が発生するだろうと予想されているので、災害が発生した場合、「自分の命は自分で守ることができる子どもに育てたい。」という願いを大切にしながら、実際に歩いて確かめ、目で調べ、体験を通して防災意識の向上を図りたいと考え進めてきた。

また、災害が発生した場合、共に助け合うことができる地域環境でありたいと誰もが願うところである。学校が避難場所に指定されていることから、本校が防災について、地域への発信元となっていければと願っている。そこで、次のように目標を立ててみた。

目標

- ① 子ども一人ひとりが、防災に興味や関心を持ち、自己の防災意識を高める。
- ② 地域や家庭、学校とが連携し、地域の防災意識の向上を図る。



## プラン

### ① 学校内での防災訓練

- ・ 学習中や休み時間中の避難訓練の実施
- ・ 警戒宣言を想定して、保護者への児童引き渡し訓練の実施と、保護者と一緒に通学路の安全確認をする。

### ② 自分の防災マップ作成 (例1 参照)

- ・ 「行徳っ子守り隊」のみなさんの力を借り学区調査をする。
- ・ 危険箇所を記した防災マップの作成
- ・ 千葉大学院生と完成したマップの再確認をする。また、災害が起きた場合の対処について指導を受ける。

### ③ 自己の防災力を高める

- ・ 千葉県西部防災センターに体験学習に行く。
- ・ 校内で市川消防署による消火訓練・地震体験・煙中脱出訓練に参加する。
- ・ 新潟地震の被災者の体験談を聞く。 (例2 参照)

### ④ 我が家の防災計画 (例3 参照)

- ### ⑤ 学区への働きかけ
- ・ 防災新聞の発行 (例4 参照)
  - ・ 防災ポスターの掲示
  - ・ 行徳防災ワークショップ開催 (例5 参照)

## 例1 防災マップの作成

|                               |                                         |                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-------------------------------|-----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 意識づけ・作成計画<br>↓<br>マップづくり<br>↓ | 6 / 7<br>45分                            | <p><b>「防災マップ」ってなあに？</b></p> <p><b>目標</b> 防災マップのよさがわかり、作成する必要性を見出すことができる。</p> <p>まず、自分の住んでいる地域を知ることが役立つという子ども達の思いから防災マップづくりをすることにした。</p> <p>↓</p> <p>防災マップの役割や利用方法について、各自で調べたことを発表し、話し合う</p> <p>↓</p> <p>安全施設や危険な場所についての学区調査をしよう。まずは、自分の通学路を基盤とし、班を編成しよう。</p> |
|                               | 6 / 10<br>～<br>6 / 30<br>45分×6<br>(4時間) | <p><b>防災マップの作り方を調べよう</b></p> <p><b>目標</b> マップに記すことや作成上必要な事項について、図書資料やパソコンを役かって調べたことを「防災ファイル」にまとめることができる。</p> <p>マップ班に分かれ、マップの作り方について調べる。</p> <p>↓ 図書、パソコンの活用</p> <p>調べたことを各班で発表し合い、防災マップづくりのために必要な事柄・調べてくる観点について、共通理解をする。</p> <p>(2時間)</p>                   |
|                               | 7 / 7<br>45分×4                          | <p><b>マップづくりのための学区調査をしよう</b></p> <p><b>目標</b> 学校(避難場所)から自分の家までの間にある危険箇所、消火施設、防災倉庫などについて、行徳っ子守り隊のみなさんと一緒に学区調査をし、マップを作ることができる。</p> <p>行徳っ子守り隊のみなさんとの出会いの会を開く。</p> <p>↓</p> <p>実際に学区を調査する。</p> <p>地図上に危険箇所や消火施設などを書き込む。</p>                                     |

## 調査の様子



7/8

～

9/20

45分×8

## 防災マップづくり

目標 いざというときに役に立つ、防災マップを作ろう

学区調査の結果を基に、調べてきたことを地図に記入する

## 防災マップをつくろう。

- どのグループか 見てもわかるように、シールをはったり、色わけをしたり、コメントを入れたりしましょう。
- 個人のマップが完成したら、グループで1つ大きなマップを作り、みんなで見合しましょう。

みんなで決めた 記号 シールなど

|          |        |                |        |
|----------|--------|----------------|--------|
| 消火器      | ○ 赤    | 公共施設(名前記入)     | ○ きみどり |
| 消火栓      | ○ 黄    | 危険な場所          | ○ 黒 ■  |
| 公園(名前記入) | ○ 緑    | トイレ            | ○ 水色   |
| 防火水栓(水色) | ○ 青    | 交番 ⊗ 消防署 ㊦ 寺 卍 |        |
| 防災倉庫     | ○ オレンジ | 神社 卍 学校 文      | など...  |

- 覚えておくことや危険なところなどは、みんなにわかるようにコメントを入れてください。地図の上にシールをはり、ふさ出しとして書くともわかりやすいです。



グループでまとめる時は  
1学期にとった写真も  
使ってまじめよう。

よりよいマップづくり

12/15

45分×2

**千葉大学の学生と一緒にマップを完成させよう****目標** 自分たちが作ったマップを、災害が発生した時に効果的に活用できるようなマップに変身させよう

地震に強い街づくりについての話を、マヌ建築研究所の神谷秀美先生から聞く。



井戸、垣根、地下水槽などを書き加える。



災害時、水を調達する方法

3日間生きるための方法

身近なものの活用（遊具でテントづくり）

電話が使用不可能なときの連絡方法とは  
など、について、大学生と一緒に考える。

その時の様子



広め合おう

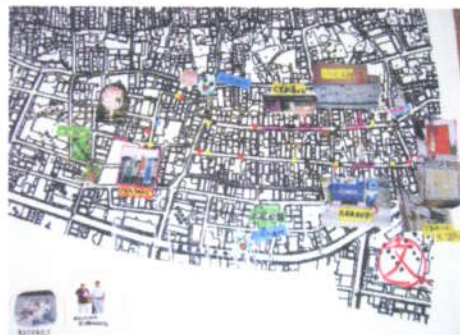
12/16

45分×2

**完成したマップの発表会を開こう****目標** 完成したマップを紹介し、お互いのよい点を認め合おう

工夫点などを加えて発表する

その時の様子



防災マップを作って

名前

1. 自分の家から避難場所（学校）までで、危険なところはどこですか。また、そこを通るとき注意することはどんなことですか。

|                 |                              |
|-----------------|------------------------------|
| 危険な場所           | 注意するところ                      |
| ブリックバレー (グラウンド) | 土も愛が起つた時に、<br>近寄らないよ。        |
| 工事現場            | 何がおこつてくるか<br>おからないうが近寄らない。   |
| 自動販売機           | 地震が起きたら、<br>たまたまおこつてくはしれない！  |
| せまい道            | 車がいきなり通つたら、<br>にやう場所が少ないうから！ |

2. 防災マップを作ったことはどんなことですか。
- 危険な場所がこんななにか、  
あったとは思わなかった。  
防災マップがこんななにか、  
知らなかった。よどろ
- わかりやすい

3. このマップをどのように活用しますか。
- 災害が来た時のために、なわてすに  
行重ががでまゐるように見ておいで、  
その時、まぐ見ようにする。

防災マップを作って

名前

1. 自分の家から避難場所（学校）までで、危険なところはどこですか。また、そこを通るとき注意することはどんなことですか。

| 危 | 険 | な | 場 | 所 | 注  | 意  | す | る | こ | と |    |   |    |   |    |
|---|---|---|---|---|----|----|---|---|---|---|----|---|----|---|----|
| 線 | 路 | が | い |   | なる | べく | 集 | 団 | で | 帰 | る。 |   |    |   |    |
|   |   |   |   |   | 危険 | が  | 道 | を | あ | ま | い  | 通 | は  | な | い。 |
|   |   |   |   |   | 周  | り  | が | 見 | え | が | は  | 歩 | く。 |   |    |

2. 防災マップを作ったことほど簡単なことですか。
- 自分の家の周囲には、防災の設備が少なく、高層建築物が近くにあり、避難場所が遠い。

3. このマップをどのように活用しますか。
- このマップを、地区内に  
けい示して、できるだけ  
多くの命を救いた
- ←すばらしい！

# 防災マップを作って

名前

1. 自分の家から避難場所（学校）までで、危険なところはどこですか。また、そこを通るとき注意することはどんなことですか。

| 危険な場所 | 注意すること     |
|-------|------------|
| 自動販売機 | たおれる可能性あり。 |
| ブロッコバ | くずれれるかも。   |
| 看板    | 落ちる可能性あり。  |

2. 防災マップを作ったことはどんなことですか。

・細い道がブロッコバにガサまれていて、災害の時とても危険！！  
 ・看板がたくさんあり、大きな物、小さい物など、いたる所に、  
 こんらんしていた。

3. このマップをどのように活用しますか。

・「災害時にコピーして活用してもらう。」  
 ・自治会の人にわたして、看板を板で回してもらう。  
 （一家庭一枚くらい）

# 防災マップを作って

名前

1. 自分の家から避難場所（学校）までで、危険なところはどこですか。また、そこを通るとき注意することはどんなことですか。

| 危険な場所        | 注意すること              |
|--------------|---------------------|
| 自衛隊はん売機がある場所 | 近づかない。              |
| ブロックバがある場所   | たおれこくるから近づかない。      |
| お店のかんばん      | 落ちてくるかもしれないから近づかない。 |

2. 防災マップを作ったことはどんなことですか。

・ふだん通りに通っているところも、すぐいりいり  
 するしせつや危いものがある、びっくりした。  
 危険なものがけっこしあったから気をつけよう。  
 怖い思いをした。

3. このマップをどのように活用しますか。

・コピーして、家に、けんけんとかロビーとか  
 には、といて、いつでも見られるようにする。（せきせき）

## 例2 新潟地震を体験した方のお話を聞こう

新潟県長岡市にお住まいの高木仁様から、地震発生時の様子や発生後の様子などについてお話をして頂いた。

また、被害の様子のDVDでみたり、「マリと3匹の子犬たち」の本を紹介してくださった。

## その時の感想

## 地震を体験した高木さんのお話

5時間目に新潟県 長岡市から

高木 仁さんが来てくれました。



話、DVD、質問コーナーがありました。

5時56分 地震が起きて 高木さんの経営している  
ガソリンスタンドは 地震の後とてもこんだようです。

また 中越地震でひどかったのは予震だそうです。

あとガソリンスタンドの奥にあるアパートがガス

爆発したそうです。そこにあた



せんたくものは100 mくらいふんぞんぐいた  
そうです。

質問でためになったのは、自分のせより高い  
ものは「つばは」ばらなどでとめていた方が

いいということです。あと、たなどかんのん開き  
より、ひきどの方がいいといっていました。

高木さんの話をきいて 自分の家でも足りない  
所があれば なおしていこうと思いました。

おうちの人に教えて(た)名前  
さくら

## 地震を体験した高木さんのお話

「ドスーン」というなにかの物  
音で始まった新潟県中越地  
震。こんなこわい体験をした人の話を  
聞けるなんて夢にも思わなかった。話  
をしてくれたのは新潟県長岡市の  
一人の人で、とてもえらい人だという。地  
震に関しては知っているけど生の情報



で、やっぱり地震はこわいと  
思います。中越地震の余震は

18回、それもマグニチュード5弱  
から6強だという。こんな地震が18  
回も続いたのだ。さらにDVDを見せ  
てもらったら、高速道路はくずれ、土砂く  
ずれもおきていた。父は、日曜日まで新  
潟に出張だった。そうしたら、土砂がくずれ  
ていたという。いまものこっているらしい。  
やっぱり地震はこわい。このままでは  
被害が大きくなる。だから対策をしっかりとろう

名前

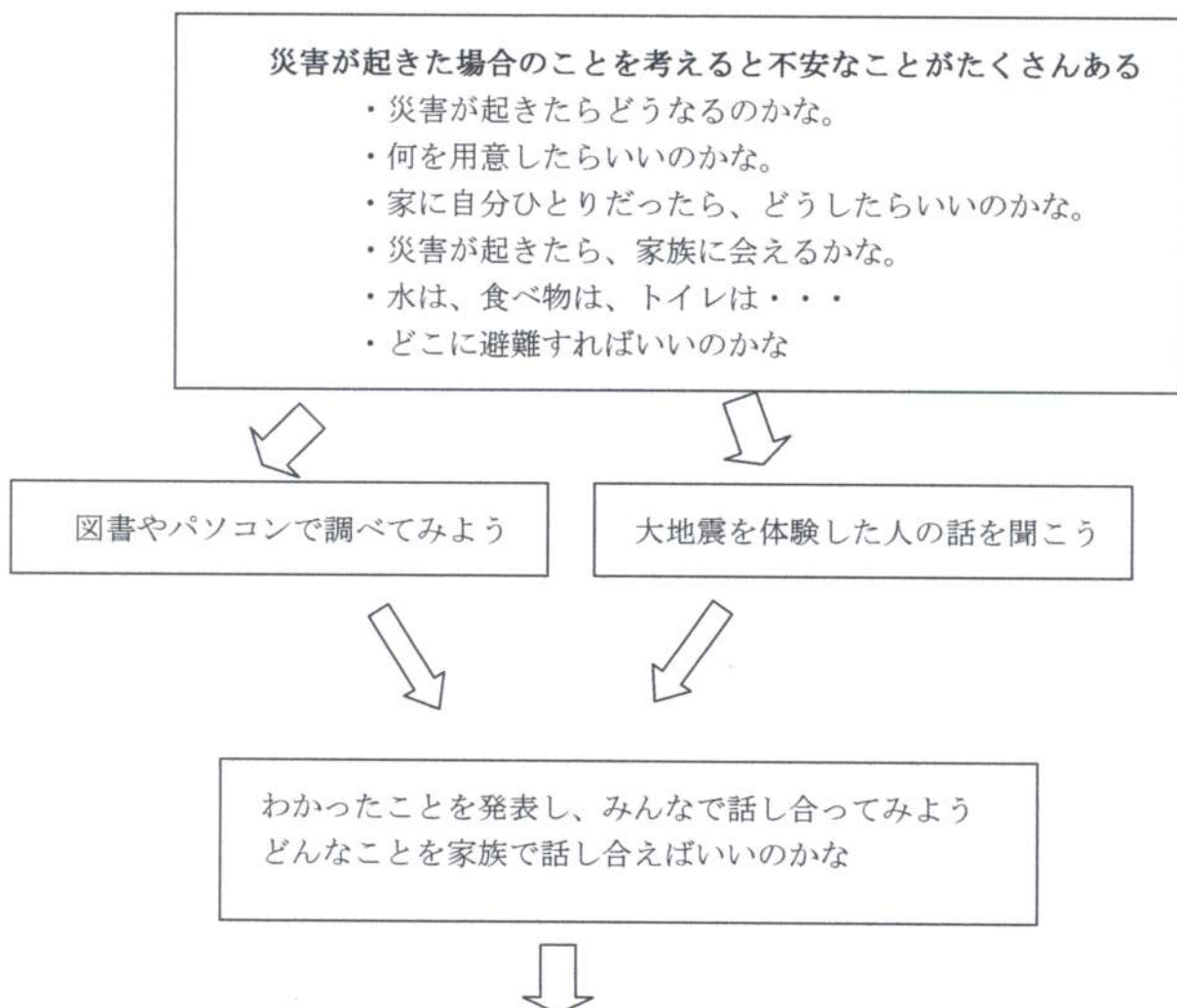
## 例4 我が家の防災計画

防災マップを作成した後の感想から

- 災害時に活用してもらいたい。
- 一家庭一枚配布したい。
- 家の玄関等に貼っておく。
- 地域に掲示する。

という子どもの声を生かし、まずは、自分の家の「防災計画」を立てることとした。

我が家の防災計画を立てよう



家族会議開催      家族で話し合ってみよう

保護者会で協力の依頼をする。



我が家の防災計画完成

家族で話し合ったことを記録しファイルに入れることとした。

(例)

(                      ) 家の防災マニュアル

|     |  |
|-----|--|
| 住 所 |  |
| 電 話 |  |

○避難場所

|             |   |     |   |
|-------------|---|-----|---|
|             | 名 | 前 電 | 話 |
| 第 1 避 難 場 所 |   |     |   |
| 第 2 避 難 場 所 |   |     |   |

○家族の待ち合わせ場所

|         |   |     |   |
|---------|---|-----|---|
|         | 名 | 前 電 | 話 |
| 第 1 候 補 |   |     |   |
| 第 2 候 補 |   |     |   |

○家族のデータ

| 名 | 前 姓 | 学 校・勤 務 先 | 電 話 番 号 | 避 難 の 方 法 |
|---|-----|-----------|---------|-----------|
|   |     |           |         |           |
|   |     |           |         |           |
|   |     |           |         |           |
|   |     |           |         |           |
|   |     |           |         |           |

○親戚の連絡先

| 名 | 前 姓 | 電 話 番 号 | そ の 他 |
|---|-----|---------|-------|
|   |     |         |       |
|   |     |         |       |

○緊急の電話

|     |     |     |
|-----|-----|-----|
| 救急車 | 火 事 | 警 察 |
|-----|-----|-----|

|                                                                                                              |                                                                                                                    |                                                                                                               |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1 身の安全を</p>            | <p>2 手は強く握るのを<br/>止める!!</p>     | <p>3 両手に力を入れて握る</p>        |
| <p>4 両足は肩幅より狭く</p>        | <p>5 まいっせに握るのを<br/>やめれば安全。</p>  | <p>6 両足は肩幅より広<br/>くする</p>  |
| <p>7 足は肩幅より広<br/>くする</p>  | <p>8 両手に力を入れて握る</p>             | <p>9 両手に力を入れて握る</p>        |

街を歩いている時

「理療・かんぱんなどの落下物を  
注意して歩く(や、ぐり)。  
プロッワ嬢や川バリなどには決よ  
んず<sup>ん</sup>どルやば場があ。たら、こ  
いひなんする。」

12

346 1 v m

又見に潮がひきはじめたら、ま道の

※急にひきかえる。

ふ、りおえぬ！フー~~~~  
こゝれをうっして、「あたりまえじやないハ  
のかち」と思ったが、もし、本當によつて  
しまつたら、いひこをこしていて、あつて、  
てしまふと思ふ。し、かり、心かまえて  
ておきたい。

14-9-04

エレクトロニクスは、カタカタゆれで落ち  
ないで"あて"なイコト。  
全部の階のボタンを押して、ずい  
におろす。



防犯ハンドブック②

地下街にゐる時

地蔵街は地震に強いので  
大丈夫。もし、停電になっても  
非常照明明をたよりにカバ  
びたいに夢だけは、必ず叶上  
にあられる。

自動車<sup>を</sup>運転<sup>して</sup>いる時

急ブレーキをかけないで、少しづつスピードをおとしていく。道路に車を寄せて止め、エンジンに切る。キーはさしたまま、ドアはロックしない。で「安全な所へいく。

田賦

121

たくさん入れても、持て  
いけないので、最低限の  
持ち物にしましょう！

[illegible][illegible]



# 例5 ワークショップの様子 配布した資料例



災害が起きてからじゃ、  
おそいのです……。

六年生から～

私たち6年生は防災について勉強してきました。  
その成果を11月26日今日、はびょうした11と思  
いまち、インターネットや、図書室の本、じっさいに災  
害にあわれた方にインタビューしたりして、今日のた  
めに、いっしょけんめいに頑張りました。私は、地  
域のみな様や、行徳、子ゆり隊の方、そして保護者  
の方の協力のおかげで、ここまでこれたと思います。  
今日、この場をお借りしてお水い申し上げます。  
ありがとうございました。今日は一生けん命に  
発表するので、聞いてください。本日は行徳  
小学校に、わざわざ足を運んでいただき、  
ありがとうございました。

通は人の非常持ち

出しクッス、け、900、

3万円で購入します。より

と思っちると思っ

せいか、田舎、ない

災害から身を守るに

せん”各、家庭に上

田舎を、まはっ

食料 → 7食分、非常持ち出し品

おぼろげに、17、17、た、ス、あ、金、か、あ、あ、

食料品を、場所、ス、ス、ス、ス、ス、ス、ス、ス、ス、ス、

買っ、か、で、ま、せん。

水 → 1人1日3リットル、水を最低で

3リットル、の、よ、で、用、愛、し、ま、し、よ、う、

お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、

お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、

お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、

お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、

お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、

お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、

お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、

お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、

お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、